



文部科学省
「職業実践力育成プログラム」認定

IWATE AGRI FRONTIER SCHOOL



—— 令和6年度 ——

受講生募集

経営感覚・企業家マインドを持って
経営革新や地域農業の確立に取り組む、
先進的な農業経営者等を養成します!

スクール紹介動画
公開中!

主催：いわてアグリフロンティアスクール運営協議会
(岩手大学、JAいわてグループ、岩手県)



I いわてアグリフロンティアスクールの概要

<教育理念>

国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成すべく、経営感覚・企業家マインドを持って経営革新や、地域農業の確立に取り組む先進的な農業経営者等を養成する。

<教育目標>

1. 国際競争時代に通用する経営能力とビジネス感覚の養成
2. 最先端の農業生産技術習得と農業イノベーションの達成
3. 消費者ニーズを敏感にキャッチするマーケットイン戦略の習得と生産・製品の開発や流通イノベーションの達成
4. 新しい時代を担っていく夢を原動力とした戦略・実行計画の策定と自己変革精神の習得

<教育科目と教育方法>

経営力とビジネス感覚の高い農業者等の育成と時代や経営、さらには地域の課題に対応できる指導者の養成を図る教育プログラムが、受講者のニーズや事情に合わせて効果的に行えるよう組み立てています。また、教育方法は、講義だけではなく、実習・演習・現地研修など多様な教育スタイルで行います。併せて、遠隔地の方の通学負担軽減のため、対面とリモートのハイブリット型の講義（7～10 講義程度）を予定しています。科目とその概要は以下のとおりです。

| | |
|--------------|--|
| 戦略計画の策定と経営管理 | 農業政策をふまえて農業経営者の機能と役割、経営者能力等を明確にし、農業経営管理に必要なノウハウを学習します。 また、自らの経営の現状を分析・診断したうえで経営理念と経営目標を設定し、これを実現するための「戦略計画」を策定します。 |
| マーケティング | 農産物をめぐるマーケット環境や流通の仕組み、農業の6次産業化に向けた考え方を学習します。 さらに、マーケティング・ミックス（製品戦略、価格戦略、流通戦略、販売促進戦略）の観点から商品開発の企画と意思決定、意匠の役割について学習します。 |
| 農業生産管理 | 農産物の生産に必要な土壌管理、病害虫管理等の生産現場における実態と改善方策の考え方について学習します。 |
| 6次産業化推進 | 農業経営の安定を図るための6次産業化をビジネスとして推進するために必要な鮮度保持や流通、農産加工等について学習します。 |
| 農業農村マネジメント | 農業を核とする地域の活性化に向けた取組を支援するため、地域のリーダーやマネージャー役となる人材として必要な知識や能力について学習します。 |

このプログラムは、平成27年12月に^{※1}文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」に認定、及び平成28年1月に^{※2}厚生労働省「専門実践教育訓練講座」に指定されています。

※1）社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する制度です。

※2）雇用保険の加入等、所定の条件に適合する場合、受講生又は事業主に対する支援を受けることができます。（別紙参照。詳細は「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局」にお問い合わせください。）

<教育体制>

| | |
|-------|---|
| 校 長 | 岩手大学農学部長 |
| 講 師 | 岩手大学及び岩手県立大学の教員、岩手県の試験研究機関・普及組織及びJAいわてグループの専門家、国の研究機関の研究者、県内外の先進農家等 |
| 評価委員会 | 岩手大学教員及び県内の関係機関、関係団体、その他の有識者 |

<履修証明書・資格の授与>

所定の条件を満たした修了者に対し、岩手大学が学校教育法第105条の規定に基づき、履修証明書を授与します。また、評価委員会から認定された者には岩手大学からアグリ管理士の資格を授与します。

<開講期間・授業時間・開講場所>

開講期間 令和6年5月下旬 ～ 令和7年2月上旬

授業時間 開講日の午前10時から午後4時

※開講日は別途定めます。

開講場所 岩手大学農学部(盛岡市上田三丁目18-8)等

<受講料>

21,000円/1年

※ただし、現地研修等の参加費は別途必要な場合があります。

<令和6年度教育プログラム> (予定)

【凡例】◎…必修科目 ○…選択科目

| | 科目名 | | 日数 | 時間数 (単位:h) | 科目群 | | |
|------------------------|-----------------|---------|-----|---------------|-----------------------|----------------------|--------|
| | | | | | 農業経営 | 6次産業化 | 農村地域活動 |
| 「経営管理」 科目 | 農業を巡る内外情勢 | 講義 | 0.5 | 3 | ○ | 18時間 以上 ※1 | ○ |
| | 農業経営の発展と農業協同組合 | 講義 | 1 | 6 | ○ | | ○ |
| | 人的資源・労務管理 | 講義 | 1 | 6 | ○ | | ○ |
| | 経営成長・経営継承 | 講義 | 1 | 6 | ○ | | ○ |
| | 農業経営戦略論 | 講義 | 1 | 6 | ○ | | ○ |
| | 会計・財務管理と経営診断 | 講義・演習 | 2 | 12 | ◎ | | ◎ |
| | 農業簿記・経営診断演習 | 講義・演習 | 1 | 6 | ○ | ○ | ○ |
| 「戦略計画」 科目 | 農業経営戦略演習 | 演習 | 1 | 6 | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 経営改善計画演習 | 演習 | 1 | 6 | ◎ | ◎ | — |
| | 農業・食ビジネス戦略計画の策定 | 講義・演習 | 2 | 12 | ◎ | ◎ | — |
| | 地域振興戦略計画の策定 | 講義・演習 | 3 | 18 | — | — | ◎ |
| | 戦略計画のプレゼンテーション | 発表 | 1 | 6 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 「農業生産管理」 科目 | 土壌管理（土壌・肥料） | 講義 | 1 | 6 | ○ 9時間 以上 ※1 | ○ 9時間 以上 ※1 | ○ |
| | 病害虫管理（防除・農薬） | 講義 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 農業生産の工程管理 | 講義 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 農業機械 | 講義・演習 | 0.5 | 3 | | | ○ |
| 「6次産業化推進」 科目 | 鮮度保持・流通技術 | 講義 | 1 | 6 | ○ 12時間 以上 ※1 | ○ | ○ |
| | 農産加工品のマーケティング | 講義 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 地域資源活用論 | 講義 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 食産業ビジネス論 | 講義 | 1 | 6 | | | ○ |
| 「農業農村 マネジメント」 科目 | 地域担い手形成論 | 講義 | 1 | 6 | ○ 12時間 以上 ※1 | ○ 9時間 以上 ※1 | ○ |
| | 地域マネジメント論 | 講義・演習 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 地域リーダー活動演習 | 講義・演習 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 都市農村交流論 | 講義 | 1 | 6 | | | ○ |
| | 地域活性化論 | 講義・演習 | 2 | 12 | | | ◎ |
| 「マーケティング」 科目 | 食の安全管理 | 講義 | 1 | 6 | ○ | ○ | ○ |
| | 商品開発 | 講義 | 0.5 | 3 | ○ | ○ | ○ |
| | デザインとブランド | 講義・演習 | 1 | 6 | ○ | ○ | ○ |
| | ネット&デジタル技術活用 | 講義 | 1 | 6 | ○ | ○ | ○ |
| 現地研修等 | 現場スタディ | 現地研修 | 2 | 12 | ○ | ○ | ○ |
| | マーケティング改善演習※2 | 演習・現地研修 | 2 | 12 | ○ | ○ | ○ |
| | 農業技術先進地研修※2 | 現地研修 | 2 | 12 | ○ | ○ | ○ |
| | 6次産業関連現地研修※2 | 現地研修 | 2 | 12 | ○ | ○ | ○ |
| | アグリ管理士との意見交換 | 講義・意見交換 | 1 | 6 | ○ | ○ | ○ |
| | インターンシップ【選択科目】 | 現地研修 | 1 | 6 | ※○ | ※○ | — |

受講可能時間数：225時間、修了にかかる必須時間数：120時間（必修科目含む）

※1：記載の単位数以上受講することが望ましい ※2：インターンシップを行う者は※2の科目のいずれかと振替可能
対面とリモートのハイブリット型の講義（7～10講義程度）を予定

II 受講者の募集要項

いわてアグリフロンティアスクールでは、令和6年度受講者を以下により募集します。

<募集対象者>

岩手県内に居住するつぎのいずれかに該当する者

- ①農業経営者、農業後継者、農業従事者等
- ②6次産業化に取り組んでいる者又はそれを支援している者
- ③農村地域活動に携わる者（地域振興、土地改良、担い手育成等のリーダー又はそれらの者を支援している者等）

<応募資格>

つぎの要件をいずれも満たす者

- ①大学の受験資格を有すること
※学校教育法第90条で規定された「高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
…(中略)…これと同等以上の学力があると認められた者とする。」
- ②農業又は農業に関連する事業の経験を有すること

<募集定員>

35名

<募集期間>

令和6年4月1日（月） ～ 令和6年5月7日（火）

※専門実践教育訓練に係る支援を受けようとする場合は、受講開始1カ月前までに岩手労働局等に申請する必要があるため、「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局」にその旨お申し出ください。

<応募書類・提出方法>

別添の入学申込書または、いわてアグリフロンティアスクールのホームページに掲載してある入学申込書を利用のうえ、必要事項を記載し、メールまたは郵送により提出してください。ホームページに掲載している入学申込書は、パソコン等での作成用（Excel ファイル）、手書き用（PDF ファイル）の2種類ありますので、どちらを使用いただいても構いません。詳細はホームページをご確認ください。なお、メールによる提出の場合は、件名を「いわてアグリフロンティアスクール入学申込」とし、郵送の場合は封筒の表に「入学申込書在中」と記載してください。

また、印刷された紙での募集要項の送付希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

<入学者の選考について>

定員を大幅に超えた申し込みがあった場合には、書類や面接による選考を実施する場合があります。

<個人情報の取り扱い>

入学申込書に記載された個人情報は、スクールの運営に必要な事項（受講管理、講義にかかる連絡、講師との連絡調整等）以外には使用しません。スクールの運営に必要な範囲で、スクールの共同運営する岩手県とJAいわてグループへ個人情報を提供することがあります。それ以外のケースでは、個人情報保護法に規定する例外を除き、第三者へ個人情報を提供することはありません。

<応募書類の提出先・問い合わせ先>

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局（岩手大学農学部地域連携推進室）

TEL：019-621-6231 FAX：019-621-6107

Mail：atiren@iwate-u.ac.jp

ホームページ：<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/iafs/index.html>

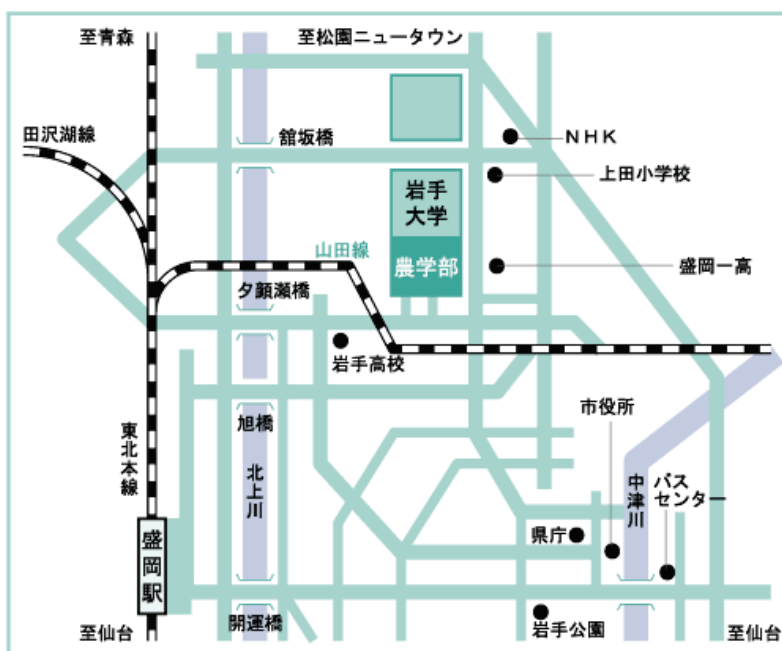
Facebook：<https://www.facebook.com/iwateagri>



ホームページQRコード



FacebookQRコード



盛岡駅から岩手大学農学部まで約2km

徒歩 約20分

バス 盛岡駅11番乗り場より松園バスターミナル行き

または桜台団地行き乗車、岩手大学前下車（約20分おき、所要時間約10分）